



移動式クレーンでの運転操作業務

- 本社所在地：徳島県阿南市橘町六反地22番地2
- 事業概要：クレーン作業、鉄骨・足場材等建築資材・長重量物・建設機械・の運搬、矢板工事一式
- 常時使用する従業員：44名（グループ全体・2025年3月時点）
- 現在の売上高：11億円（グループ全体・2025年3月期）
- 法人番号：7480002013904
- Web：
<https://www.sasakiunyukikou.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
佐々木 一成

「地域インフラを支える専門技術で、100億円企業への挑戦」

当社は創業以来、徳島県南部地域において重機運搬・クレーン事業を通じて地域のインフラ整備に貢献してきました。最高の『品質』と『サービス』をお客様に提供することで、皆様のお仕事をお手伝いする使命感を持ち続けております。大型設備投資と技術力強化により徳島南部道路の橋梁工事および洋上風力発電事業への本格参入を果たし、地域経済の発展と再生可能エネルギーの普及に努めます。従業員の技術向上と待遇改善を通じて地域雇用の質を高め、M&Aや全国展開による事業拡大で持続可能な企業成長を実現し、地域社会に貢献して参ります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2040年度までに売上高100億円達成を目指し、年率約10%の成長を実現する。第1期拡張準備期（～2028年）では施工実績積上げにより10億円から20億円へ、第2期事業多角化期（2029～2034年）ではO&M事業参入・全国展開により50億円へ、第3期産業化期（2035～2040年）ではプロジェクト開発パートナー化により100億円の段階的成長を図る。

課題

- ・ 建設・運送業界の慢性的人手不足と高齢化による熟練オペレーター・整備技術者減少への対応
- ・ 現在の徳島中心の地域密着型から関西・中四国・九州への事業エリア拡大とグループ拠点展開
- ・ 大型クレーンなど数億円規模の設備投資における稼働率安定化とグループ全体のキャッシュフロー管理強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 大型設備投資による徳島南部道路橋梁工事への参入拡大
- ・ 洋上風力発電の施工・メンテナンス事業への本格展開
- ・ 企業買収・M&Aによるグループ事業の多角化推進
- ・ 関西・中四国・九州への拠点展開とグループ連携体制の構築
- ・ O&M（運用・保守）事業への進出など事業領域拡大
- ・ プロジェクト開発パートナー化や海外展開への挑戦
- ・ グループ内でのワンストップサービス体制による総合インフラサービス企業への転換

実施体制

- ・ 現場統括責任者・施工管理者・専門オペレーター・安全管理者からなるグループ専門チーム体制の構築
- ・ GWO資格取得等の人材育成強化とグループ間での技術者交流制度の確立
- ・ 若手・未経験者向け育成プログラムの拡充と働き方改革推進による人材確保
- ・ 阿波銀行との安定的な資金調達体制の強化
- ・ 住友重機械建機クレーン等メーカーとの技術連携強化

グループシナジーによる100億円達成戦略

佐々木運輸機工有限会社
(クレーン作業請負事業)

有限会社新栄自動車整備工場
(自動車整備事業)

グループ全体での100億円達成は、佐々木運輸機工（親会社）と新栄自動車整備工場（子会社）の戦略的連携によるシナジー効果の最大化により実現する。新栄自動車整備工場は単なる子会社ではなく、グループ全体の成長を支える重要な基盤として位置づけている。親会社が大型設備投資を積極的に進める中、新栄自動車整備工場はこれらの重機・車両の専門的な整備・メンテナンス体制を担い、グループ全体の競争力向上と収益性確保を実現する。

現在、新栄自動車整備工場は現場用車両のレンタルとクレーンの年次点検を主力事業としているが、親会社の事業拡大に伴い、より高度な重機整備技術の蓄積と大型設備対応能力の強化を図る。これにより、外部業者への整備委託コストを削減し、グループ全体の利益率向上に直接貢献する。また、親会社の橋梁工事や洋上風力事業における現場運営において、迅速な車両・重機の調達とメンテナンス対応により、プロジェクトの効率性と信頼性を高める役割を担う。

第2期以降では新栄自動車整備工場の事業領域を重機レンタル事業へと拡大し、顧客への総合サービス提供体制を構築する。親会社のクレーンオペレーター事業と子会社のレンタル・整備事業の組み合わせにより、「重機の調達から運用、メンテナンスまでワンストップサービス」を実現し、競合他社との差別化を図る。

